

普及活動情勢報告（令和7年9月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

定植初期の暑さを乗り越えたい！～トルコギキョウのロゼット対策～



調査用の苗を仕分ける普及員

8月20日、香南市の農家3戸のほ場において、トルコギキョウの品質向上を目指した調査を開始しました。

管内では、定植初期の高温によりロゼットが発生することが問題となっています。農業改良普及課は、ロゼットを防ぎ生育を良くするための方法として大苗定植を提案し、賛同を得られた農家のほ場で定植作業を行いました。

農家からは「どのような違いができるのか楽しみ」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もトルコギキョウの収量・品質向上に向けた取組を支援していきます。

農業基礎講座を開催しました



講座の様子

7月29日、8月5日及び8月21日に中央東農業振興センターにおいて農業基礎講座を開催し、新規就農者など延べ24名が参加しました。

基礎講座では農業改良普及課などが講師となり、土づくり、農薬の安全使用、複式簿記の原理、農業共済制度と収入保険制度、労務管理、法人化について講習しました。

参加者からは「病気やケガで収穫が出来なかった時の事が不安だったが、収入保険制度の事を聞けて安心した」「次年度は鳥獣被害対策をテーマに加えて欲しい」といった意見がありました。

農業改良普及課では、引き続き新規就農者の経営安定を支援していきます。

非辛みシトウの品種比較試験の結果は？～香美地区促成シトウ部会反省会～



比較試験の結果について
説明する普及員

8月29日にJA高知県野市支所で香美地区促成シトウ部会反省会・栽培講習会が開催され、生産者6名と関係機関8名が参加しました。

農業改良普及課は、生産者やJA営農指導員と協力して実施した非辛みシトウと既存品種の比較試験の結果について説明しました。

生産者からは、「既存品種と比べて非辛みは樹勢が強いため、樹勢を抑えられる方法や大人しい非辛み品種があれば栽培に取り組みたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら非辛みシトウの普及に取り組んでいきます。

環境データを活用した病害対策！！～データ駆動型農業勉強会～



勉強会の様子

9月11日、農業改良普及課がデータ駆動型農業勉強会を開催し、管内のJA営農指導員と農業普及課職員17名が参加しました。

農業技術センター病理担当よりSAWACHIで実装されている病害予測機能や湿度データを活用した病害対策について説明がありました。農業改良普及課からは気象データを活用した露地ネギでの病害予測の取り組みを情報共有しました。

参加者からは「黒枯病を防ぐための湿度中断はどの位の時間必要か？」など多くの質問が出され、有意義な会となりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して農家の収量・品質の向上に向けて取り組んでいきます。

農作業を体験してもらおう（農福連携）



定植位置や深さを確認しながら定植

9月18日に、香南市・香美市の農家・関係機関で農福連携を推進する「畠の会」がプロッコリーの定植の体験会を行いました。事業所等の利用者や支援者8名が参加し、農家や普及員から苗の移植機の使い方、植える位置や深さを教わりながら定植しました。

残暑が厳しい中でしたが、テンポよく集中して作業を行うことができました。

収穫や調整作業の体験も行い、収穫した農産物は香美市のイベントで販売実習してもらい、農福連携の取組について広く知ってもらおうと企画しています。

農業改良普及課では、今後も関係機関や農家と連携し、農福連携を推進していきます。

香美市3中学校の生徒へ普及指導員の仕事を紹介



中学生に仕事の魅力を紹介

9月12日、香美市教育委員会主催のキャリア教育特別授業が鏡野中学校で開催され、香美市3中学校の生徒20名が参加しました。

授業では、香美市の農業が直面する課題を交えながら、私たち普及指導員の仕事のやりがいや苦労、そして仕事に求められる能力について、写真や動画を使い、生徒の皆さんにわかりやすく伝えました。

生徒たちは「今後の農業の課題は何か」といった積極的な質問も出され、農業への関心の高さが伺えました。

農業改良普及課は、今後も若い世代をはじめ、より多くの人々に農業の魅力を発信していきます。